

荷主様と協力した2024年問題への取組み事例


丸久運輸株式会社

■取組みの狙い・きっかけ

【案件】 出版物（書籍・雑誌）の幹線貸切輸送

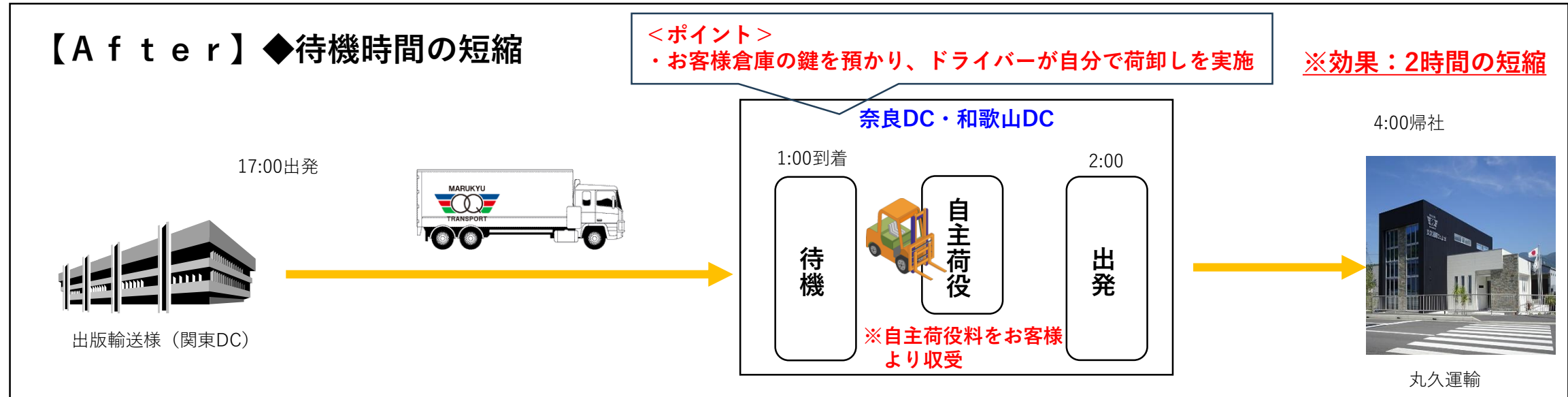
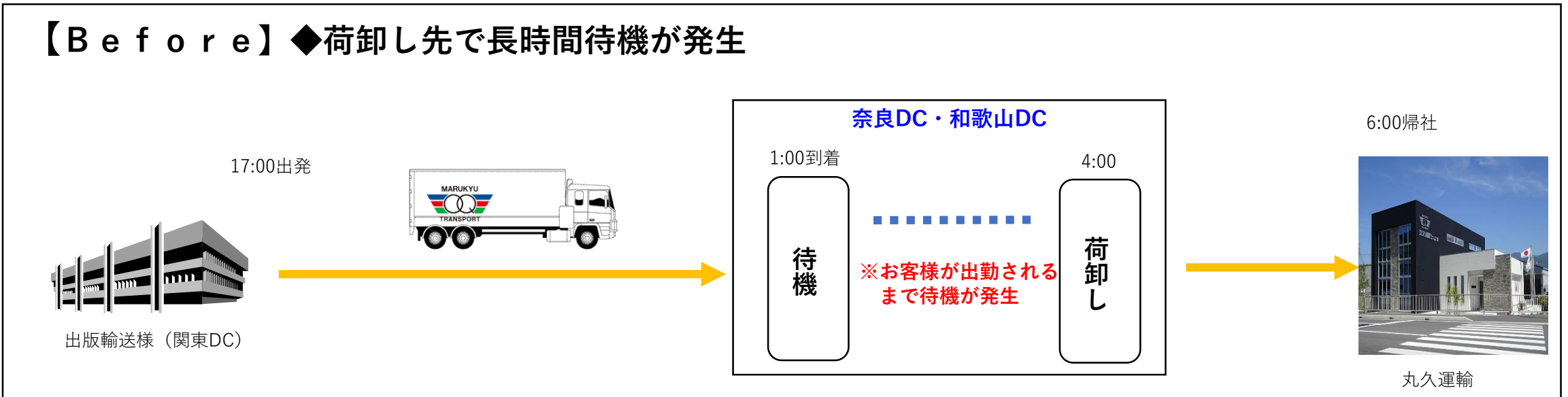
- ・ 関東（東京）の印刷工場で製造された出版物（書籍・雑誌）を毎日積載し、奈良県及び和歌山県の出版物のルート配送拠点へ貸切車両で幹線輸送する運行便

【狙い】 2024年の拘束時間の短縮化への対応

- ・ 拘束時間が「293時間以内／月」から「284時間以内／月」へと短くなることから配車計画の変更を迫られた
 - ⇒ 休息時間が「継続8時間以上」から「継続11時間を基本とし、9時間を下回らない」に変更となることに伴い、折返し運行の間のインターバル時間を確保できるように、運行時間の短縮化が必要
- 
- ・ お客様が出勤されるまで待つのではなく、**当社の乗務員が、お客様倉庫の鍵をお預かりしてお客様の出勤前に荷卸しを行う（成り代わり支援）**ことで、拘束時間を短縮することを計画
 - ⇒ お客様のご協力も必要であり、**単なる適正運賃収受ではなく「+αの価値」を提供**することを前提として協議

◆グループ成功事例紹介

■取組み内容（ポイント）



お客様のお困り事 (Pain)

- ・ 運賃アップは仕方がないと理解しているが、そのUP額を抑えたい
- ・ 委託先運送会社の時間管理をどのようにしてよいか具体的なアイデアがイメージできていない
- ・ ドライバーの都合に合わせて、自社社員の残業時間が延びてしまう

ご提案内容

- ・ 倉庫の「鍵」を当社でお預かりし、倉庫扉をドライバーが開錠してパレット積載された商品を自主荷役で納品する
- ・ 拘束時間削減：2時間/日×10運行=20時間短縮×2運行
⇒連動して残業時間削減
20時間×1,500円=30,000円/月×2名
- ・ 運賃アップ効果：年間 15,000千円 (対象コース以外も含む)

<POINT>

- ・ 長年培った信頼がベースとなり、「鍵」を当社で預かるオペレーションが実現 (鍵は暗証番号のかかるBOXに収納され、ドライバーは番号をプッシュして開錠)

お客様に提供できたGain

《お客様》

- ・ お客様の倉庫担当者の勤務時間の短縮 ⇒ 3時間/日の短縮効果 (4時出勤⇒7時出勤)
- ・ 運賃の上昇率抑止：当初提案130%UP ⇒ 115%UPに抑制することができた

お客様、当社、両方に効果があるWIN・WINな関係の実現

